

グループホーム清久 事業報告

平 30 年度事業計画に基づき、以下のとおり事業を行いました。

(1) 定員の充足

- ア 賃貸物件(のざわら)は、耐震性の問題やスプリンクラーの設置が難しいこともあり、契約更新せず、2 月末で終了しました。
- イ 80 歳男性 1 名が電解質異常の為入院治療中でしたが、3 月に肺炎で亡くなりました。
- ウ 3 月に男性 1 名がグループホーム体験利用を経て、新たに入居しました。
- エ 空き居室は、体験利用や短期入所の居室とし多くの人が利用しました。

現在の入居者の状況は以下の通りです。

ア 定員内訳

* () カッコは短期入所の人数

	清久	ハイツ	上清久	こがら い	仁丁町	おぎそ ね	こすも す	うちや	合計
定員	7 名	4 名	4 名	7 名	4 名	7 名	4 名	4 名(1 名)	41 名 (1 名)
現員	6 名	3 名	4 名	7 名	4 名	7 名	4 名	4 名(1 名)	39 名 (1 名)

イ 男女比・年齢構成

	19 歳～29 歳	30 歳～39 歳	40 歳～49 歳	50 歳～59 歳	60 歳～69 歳	70 歳～79 歳	合計
男性	3	7	5	5	2	4	26
女性	0	0	2	4	5	2	13

ウ 平均年齢

	平均年齢 (男女別)	平均年齢 (全体)
男性	47.5 歳	52.0 歳
女性	61 歳	

エ 障害支援区分

	区分 1	区分 2	区分 3	区分 4	区分 5	区分 6	計
男性	0	5	4	11	4	2	26
女性	0	0	5	4	4	0	13
計	0	5	9	15	8	2	39

オ 療育手帳・身体手帳・精神手帳の所持状況

	療育手帳					身体障害者手帳				精神保健手帳		
	㊦	A	B	C	なし	1級	2級	3級	なし	1級	2級	なし
男性	1	7	13	3	1	0	1	1	24	1	2	23
女性	1	8	3	1	0	0	0	1	12	1	1	11
計	2	15	17	4	1	0	1	2	36	2	3	34

< 日中活動場所 >

○就労

会社名	仕事内容	人数
(株)なとり	食品加工・荷物運び	2人
(株)ウィズウェストジャパン	リサイクル選別	2人
松勘工業(株)	武道具生産	1人
(福)久喜けいわ	洗濯・清掃・入浴補助	2人
(株)ネアス	クリーニング・掃除	1人
(株)流通サービス	物流・箱出し	2人
(株)吉野家ホールディングス	食肉加工	1人
アイワイフーズ(株)	食品製造	1人
(株)グリーンクロス	洗浄作業	1人

○福祉事業所

事業所名	サービス内容	人数
久喜けいわ	生活介護	4人
久喜けいわ	就労継続B型	14人
コムラード	就労継続B型	1人
久喜市 あゆみの郷	生活介護	3人
久喜市 あゆみの郷	就労継続B型	1人
宮代町 ひまわりの家	生活介護	1人
白岡市 めぐみの里	就労継続B型	1人
宮代町 アバンティ	就労移行	1人
久喜市 偕楽荘	高齢者ディサービス	2人 (久喜けいわ・あゆみの郷と併用利用)

(2) 利用者支援

ア 地域生活者としての自立支援

(ア)入居者の一人ひとりが、要望や意見が言えるように日頃より話をしやすい環境を常に心掛けるように努めました。

(イ)金銭管理について、その人なりに自己管理できるようにしました。計画的にお金を使えるように、高額なものに関してはお金を貯めて購入しました。自

分で働いたお金を貯めて購入することで、物を大事に使うことができるようになりました。

(ウ)外出の予定等は一緒に決め、入居者の希望にそった外出ができるようにしました。

イ 健康管理の充実

(ア)年に1回、就労先や啓和会が行う健康診断を受けました。有所見者に対しては、嘱託医に相談し必要に応じて病院に受診しました。

(イ)病気は様々ですが、内科や泌尿器科などの定期通院で服薬治療をする人が増えてきています。通院には同行し、医師からのアドバイスを分かりやすく伝え、自らも気をつけられるようにしています。

(ウ)年齢と共に生活習慣病を心配される入居者が増えてきました。食事面に関しては、必要に応じて管理栄養士に食事相談をし、アドバイスを参考にバランスの良い食事提供をしました。また、適度な運動を心がけました。

(エ)健康状況の把握は毎日、各ホームにて行いました。日頃より、手洗い・うがいの実施と希望者にはインフルエンザの予防接種を実施し、感染予防に努めました。

(オ)白内障が進み視力の低下がみられていた女性入居者が、入院し両眼の手術をしました。よく見えるようになり活動範囲がひろがりました。

(カ)体調不良を訴えていた入居者1名が、病院で検査し腸に腫瘍が見つかり、本人、家族の意向で治療(放射線、投薬)を行なっています。

ウ 余暇活動の充実

(ア)入居者の要望から、映画鑑賞やコンサート、日帰りバスツアーに出かけ楽しむことができました。

(イ)就労している入居者13名が集まり3班に分かれ、希望する各地へ一泊旅行の計画をたて実施しました。

(ウ)地域行事には積極的に参加し、地域の人と交流しながら楽しむことができました。

(エ)休日は、友人同士で公共交通機関を利用し、買い物や外食、美容室へ出かけました。お互いの部屋でテレビゲームをやって過ごしたり、音楽を聴いたりしました。

(オ)陶芸のボランティアさんにきてもらい陶芸教室を開催するようになりました。希望者10名が参加しています。

(3) 地域との共生

ア 地域住民の一員としての役割として、地区の清掃や草むしり、ゴミ当番、きよく大運動会のテント設営、地域行事準備等の手伝をしました。

イ 「清久婦人会」に入居者が会員として、地域活動や交流会、地域行事の手伝い等に参加しました。

(4) 危機管理の徹底

ア 各ホームで危険箇所の点検と老朽箇所のメンテナンスを定期的に行いました

ホームの外回りには、防犯防止策として電灯をつけました。また、修繕箇所には早急に対応をしています。

イ 久喜消防署立会いの下、消火訓練、通報訓練、避難訓練を行いました。また久喜市防災訓練や地区の防災訓練に参加し、消火訓練や炊き出し訓練を行いました。地域の人と一緒に訓練を行い、入居者と職員の防災に対する意識の確認を行いました。

ウ 自転車で通勤等する入居者には自転車保険に加入をしてもらいました。通勤や外出を通し行動を共にし、交通安全が意識できるようにしました。

(5) 関係機関との連携

ア 久喜けいわ(就労移行)及び就労支援センターと連携し、20代の入居者が就職することができました。生活保護を返納し、自立した生活を目指しています。

イ 支援センターと連携し、圏域内の在宅障害者に対して、体験利用や短期入所を積極的に受け入れました。

ウ ホームから単身生活した人への相談や訪問等を、支援センターと協力し実施しました。

エ 高齢者施設のデイサービスを利用している入居者に対し、高齢者施設の職員やケアマネージャーと協力し、支援しました。障害福祉事業所と併用し、週1~2回デイサービスの利用を楽しんでいます。

オ 入院が必要になった入居者の手続きや亡くなった後の手続きなど、親族がいるにもかかわらずかかわることを拒否され、対応に苦慮しました。

(6) 施設整備

ア グループホーム仁丁町(賃貸)の建て替えについて、引き続き、家主と法人本部が話し合いをしましたが設置にはできませんでした。

イ ホームの設備の定期点検を行いました。清久ホームの浴室に手すりをつけたことで安全に入浴できるようになりました。

(7) 人材育成・確保

ア 内部、外部研修に多くの職員が参加しました。日々の支援の振り返り、入居者へのサービスの質の向上に努めました。

イ 職員の離職理由について、自身の健康や、家族の病気などがあります。労働時間を短縮したり、休みをとりやすくする等の工夫をし、離職防止に努めています。

○研修実績

(外部研修)

研修名	主催	日時	場所	参加者
労務管理者研修	埼玉県社会福祉協議会	5/30.6/7	農業共済会館	高瀬
サービス管理責任者研修	埼玉県	6/5.8	さいたま市文化会館	清水

プチパワーアップ埼玉セミナー	知的障害福祉士の会	6/30	さいたま文学館	清水
利用者のニーズにせまろう	埼玉葛北地域サビ管ネットワーク	7/27	はびす白岡	高垣
青年部会研修（第2回）	埼玉県発達障害福祉協会	8/27～28	神奈川県みなと舎	相馬
全国グループホーム等研修会（愛媛）	日本知的障害福祉協会 他	9/3～4	愛媛県 ひめぎんホール	矢治
サービス管理責任者研修	埼玉県	9/4	さいたま市文化会館	清水
青年部会研修（第3回）	埼玉県発達障害福祉協会	12/18	埼玉会館	相馬
サービス管理責任者研修	埼玉県	1/22. 23	さいたま市文化会館	清水
実践交流会	埼玉県発達障害福祉協会	2/22	農業共済会館	島田
労働時間セミナー		2/25	大宮ソニックシティ	高瀬
サービス管理責任者フォローアップ研修	埼玉県発達障害福祉協会	2/27. 28	埼玉会館	高垣

（法人内部研修）

研修名	内容	日時	場所	参加者
職員研修	新任、中堅職員	6/20	喫茶談話室	島田、小山
職員研修	中堅職員	9/19	喫茶談話室	守嶋、島田、小山
職員研修	管理者	10/31	ワーク食堂	高瀬
職員研修	主任、主査	2/7		相馬 高垣
虐待防止研修		3/4	機能訓練棟	高瀬、相馬、矢治、 守嶋、清水、尾崎、 高橋（朋）、齋藤（直） 高橋（京）、阿部、 高橋（俊）